

今泉地区 宿郷東自治会

「会員の親睦と自主防災活動」

●加入世帯数：530世帯

●加入率：89.7%

活動内容

宿郷東自治会は、宇都宮駅東の中心部に位置し、多くの事業所やマンションが連立したなかで、約1,500世帯の方々が生活をしています。また、街並みの中央部にはLRTの導入が計画されており、更なる都市化に向けて大きな変貌と発展が期待される自治会です。

ひと昔前は、田園が漂うのどかな風景のなかで、お祭りやドンドン焼き、そして、近くの用水堀でザリガニ釣り等々、私たちの幼少期には懐かしく楽しかった数々の思い出のある故郷でもありました。

しかし、急激な生活環境の変化は世代間の顔ぶれも大きく変わり、その為にも新旧会員の親睦と交流を図る必要がありました。お陰様で当自治会の中央部には広い公園もあり、早速会員総出で「子ども会・自治会」共有の花壇を設置し、私たちの活動拠点としての「憩いの場所」を立ち上げて日々の自治活動を行っています。

次に、東日本大震災を教訓に、平成26年4月に、自治会独自の「自主防災組織」を立ち上げました。大きく揺れた地震はマンションの玄関ドアが開かず閉じ込められたり、エレベータ

停止による避難の困難が発生していました。そうした状況を踏まえ、自治会独自の「防災意識のアンケート調査」を行ってきました。その結果、日頃地震や自然災害への危機に多くの方から強い関心が寄せられ、また自主防災組織の設立に87%の会員から賛同が得られました。

そして現在は、ご近所同士が助け合い、そして弱者を優先とした共助活動を主眼に、毎年消防署や地元企業の協力によって救護・救助訓練や炊き出し訓練を実施し、災害に備えた危機管理の向上に努めております。

<具体的実施事項>

ーグランドゴルフ大会ー

年度始めの行事として、「憩いの場所」公園内で、グランドゴルフ大会を行っています。シルバークラブや高齢者と子ども会児童との触れあいを図るため、年2回の大会を実施しています。当初は、児童の参加数も少なく心配をしましたが、年々参加者も増え、今では父兄も参加するなど100名を越える参加者で楽しく競技が行われています。

児童達は、当初クラブの持ち方やルールを教えていただき、不安な気持ちで競技をしていましたが、次第に慣れ

てきた子どもたちには諸先輩方も敵わず，“孫とお爺ちゃんお婆ちゃん”の元気で微笑ましい姿が公園一面で見られています。

—公園の清掃と花壇整備—

公園内に「子ども会・自治会」の花壇を造作してから、はや9年が経ちました。毎年6月と10月の年2回、子ども会・自治会総出で公園内の除草作業や花壇整理を行っています。久しぶりの土いじりに心地よい汗を掻き、また世間話に花を咲かせるグループ等、公園の隅々から歓喜も聞こえてきます。そして、最後には、婦人会からの美味しい炊き出しを満悦しながらひと時の協働作業を楽しんでおります。

そして、日頃は老人会の皆さまの絶え間ないご尽力によって維持もされ、お陰様で、四季をとおして花々が咲きそろう、親子連れや無邪気で遊ぶ子ども達に温かみを与えています。



—自主防災活動—

東日本大震災を教訓に、ご近所にお年寄りの方が住んでいる、一人暮らしの高齢者がおられる、車椅子や杖を突いたご不自由の方や、ご婦人で一人暮らしをしている、その他、災害時に援

助を必要とする人がいる、等、各班の協力と自治会が一体となった防災活動を実施しています。



日々の生活のなかで、要援護者や弱者を見守り、災害時は手を差し伸べることを基本に、年一回、救護・救助活動を主体に消防署の指導のもとに訓練を行っています。

更に、公園内には自主防災倉庫を設置し、必要最小限の防災用具を整えています。これらは、「宇都宮市自治会活動参加促進事業補助金」を活用し、また「公園内敷地の申請許可」によって整備をしてきました。

お陰様で、今年2月に発生したマンション火災では、マンション管理組合と自主防災組織が連携し、円滑な救助活動を行いました。具体的には、ご不自由な方々の居住者名簿（マンション側作成）によって、速やかに消防に情報提供し、消火・救助活動が行われました。この事は、集合住宅では最も重視すべき事項であり、平成28年度からは「マンション・集合住宅等における救助体制の確立について」を追加作成し、管理会社や組合にむけて喚起作業を行っています。

一方、地元企業との協調では、企業

主催の缶詰を利用した「非常食ローリングストック法」の料理教室に参加して炊き出し手法を学ぶなど、災害に備えた大きな成果ともなっております。

ー夏の夕べ天王祭とハロウィン祭りー

永年継承されてきた地元「天王祭」を毎年夏休み前に挙げています。地域の現状を見ると、夏休みになると実家への帰郷や旅行に出かける児童も多く「楽しみなお祭りに参加ができない・・・。」とする子どもからの声に夏休み前に変更し、毎年250名以上の参加者で大いに賑わっています。

また、従前はお神輿とお囃子で町内を一周し渡御してきましたが、昨今の交通事情と安全面を考慮し「憩いの場所」公園内で実施しています。出店や地元お囃子会・ハワイアンバンドの生演奏、そして栃木ブレックスから毎年ブレッキー君を迎えた楽しい催しによって親子が一緒になって楽しんでおります。そして、当地区には外国籍の方も多くおられ、珍しいお神輿と一緒に担いだり、金魚すくいに挑戦をしたりして、日本古来の文化に触れながら喜ぶ姿が散見されています。

そして、今年10月には“ハロウィン祭り”が計画されています。子ども会発案による初めての行事で、どのようなお祭りになるか楽しみです。

ー社会福祉活動ー

当自治会は、今泉地区連合自治会（5自治会）の一単位自治会であり、

連合自治会と密な連携によって活動をしております。

社会福祉活動では、各月各自治会の当番制で「触れ合い給食」の開催と、各自治会では「触れ合いサロン」を開設し、独居老人や高齢者との親睦を図っております。

「触れ合い給食」では、各自治会特有の料理が提供され、朝早くから社会福祉協力員や民生委員、婦人会の方々が自慢の料理に腕を振るっています。調理の合間にはゲーム等を行い楽しんでおりますが、過日当自治会では「オレオレ詐欺撲滅運動」として、地元金融機関による寸劇を披露していただき大変好評でした。



また、地元ボランティアによるフォークダンスやハワイアンバンドの生演奏にも大変喜ばれるなど、和やかなひと時を過ごされております。

また、「触れ合いサロン」では、当自治会には3箇所のサロンを立ち上げ活動をしております。家に閉じこもる事無く、ご近所の方々が楽しくお茶会を開き、昨今の情報交換や、昔話の思い出に耽るなど有意義な時間が過ごされております。

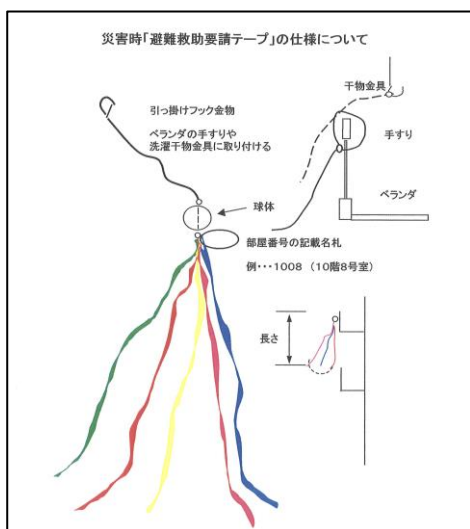
この様に、当自治会では児童からお

年寄りの方々までが、元気で健康に過ごしていただく為にも、数々の融和環境をつくり親睦と交流を図っております。今後とも連自治会や行政・社会福祉協議会等と連携し、関係者が一丸となって健康で明るい町づくりに努めていく所存です。

－自治会組織－

自治会役員の構成は、30代から60代とバランスよく構成されています。若手役員は新しい事業計画を策定し、60代はよき伝統の継承に努め、明るく活気ある町づくりに取り組んでおります。そして、それぞれ行事の原動力として大いに活躍されているのが婦人会・子ども会の皆さまでもあります。

この様に、自治会活動は協働と共助によって楽しく過ごすことが何よりの財産でもあります。これからも諸先輩方々から培った大切な歴史を継承し、更に新しい取組への参画によって楽しく有意義な自治会活動に向かい遂行していく所存です。



加入率を維持する秘訣

昭和50年以降、当自治会内にはマンションや集合住宅が多く建設され、最近でも新たな建築によって世帯数が顕著に増加しています。

新築されたマンションには随時役員が訪問し自治会加入を勧めてきましたが、結果的には管理組合一括加入が多く、自治会世帯数と加入数には大きく乖離した状態となっています。しかし、ここ数年の新築マンションでは全世帯が自治会に加入するなど驚いた事象が生じました。

その大きな理由として、当自治会の災害に備えた自主防災組織の構築と危機管理への取組が評価された内容でした。

東京をはじめ他県では地震や災害への危機管理の意識は高く、建築オーナーからは是非加入をさせてほしい旨の依頼があり、3棟182世帯が加入されております。

